

さい



4・5 合併号

一般会計で 3億7,178万円

70才以上治療費 (国保加入者) 無料実施

山村開発センター

ことし秋完成

昭和四十七年第一回定例議会は三月二十一日招集された。この議会は四十七年度の村の予算を決める最も重要な議会とあって、欠席議員はなく、会期を二十五日迄の五日間と決定した。

会期の初日は、全議案にわたる提案理由説明、二日、三日間は議案熟考、四日目は一般質問、五日目、議案全搬にわたり質疑、討論採決を行い、全議案を原案どおり可決した。

この議会に提案された議案は次のとおり

- 議案第二号 国民健康保険条例の一部改正条例
- 議案第三号 昭和四十七年度佐井村一般会計予算
- 議案第四号 昭和四十七年度佐井村簡易水道事業特別会計予算
- 議案第五号 昭和四十七年度佐井村国民健康保険事業特別会計予算
- 議案第八号 佐井村特別職の職員給料等に関する条例の一部改正
- 議案第九号 教育委員会教育長の給与および勤務時間等に関する条例の一部改正

〔予算のあらまし〕

◇一般会計

歳入の中で、注目すべきものは何んといっても自主財源と依存財源の比率ではないでしょうか。この町村でも異口同音に自主財源

が少ないということですが。わが村の自主財源は、わずか八%で残りの九十二%は、国とか県または地方債に依存せざるを得ないので。

した、牛滝開港橋、福浦橋を災害復旧で永久橋に、かけかえるため牛滝開港橋に四百六十八万円の内訳は、負担金百三十四万円、起債二百六十九万円、一般財源五十二万五千元、福浦橋六十七万五千元を見込んでいます。

百十七haの部分林造成

一、歳入
歳入総額は三億七千七百七十八万四千円、前年度当初と比較して十九%の伸び。この内訳は、村税が三十二%、地方交付税二十八%、村債八%減、国庫支出金六%、県支出金六十四%、その他六十五%の伸びとなっています。

二、歳出
歳出では、今年度完成予定の山村開発センターに三千六百四十六万円余り、役場庁舎に四千九百六十二万円余りです。山村開発センター、役場庁舎の新築については、山報九月号でお知らせ致しましたが、山村後進地域から脱皮するため産業教育や社会教育などで地元産業を振興させる一方、社会福祉、老人福祉を目的として建設中ですが秋までには完成するはこびとなりました。農林漁業に関する各種技術講習会等に使用する研修用テابل、いす、伸展機等に二百九万円、工事請負費としてセンターは三千四百三十四万六千元、役場庁舎四千六百九十八万一千円この財源内訳は、補助金がセンターで二千四百四十九万五千元、起債六百七十万円、一般財源九百八十八万一千円、役場庁舎は、起債一千七百万円、一般財源二千九百九十八万一千円となつて、歳出全体二十五%に当ります。

わが村経済を大きくささげているものは何んと言つても漁業であると言つても過言ではないでしょう。数年前から沿岸漁業構造改善パイロット地区構造改善事業の指定地域としていろいろの施設が整されてきました。今年度は、弁天島に給油施設設置事業三百九十六万円、並型漁礁設置事業二百九十九万円、漁村住宅改良利子補給九十五万六千元、自衛船建造資金借入償還補助七十七万円、自動いかづり機械設置事業七十五万円、漁業近代化利子補給七十七万円、アワビ

牛滝開港橋、福浦橋に

四百八十四万円余り

の補助金

漁組に一千四十八万六千元

五年で大きな災害を受けま

稚員投入事業二十五万円、漁場開発事業十万円、漁船まき揚施設設置事業十万円です。このうち県からの補助金が七百一十一万九千円で残りの三百三十六万七千円は一般財源です。

教員住宅三戸、磯谷小学校

集会室を新築

この教員住宅は、毎年建築しているもので今年度も佐井小学校二戸、三百六万円、磯谷小学校一戸百四十六万円の内訳は、補助金が百九十八万三千円、起債、百六十万円、一般財源九十三万七千円、集会室八百二十九万五千円の内訳は、補助金三百九十一万五千円、起債、二百九十万円、一般財源百四十八万円となっています。

福浦漁港工事本年度も実施

福浦漁港は二年前から工事に着手しているもので、今年度は八百八十三万円、このうち県補助が三百十六万三千円で、十六・三メートル伸びる予定だそうです。

◇簡易水道特別会計◇

佐井簡易水道増補改良工事

歳入では、水道使用料が三百三十二万五千円(十一%)、県支出

金六百万円(一%)、その他千二百二十五万四千円(三十八%)、繰入金が八百九十九万六千円(三十%)で、当然多いはずの水道使用料が少なく、一般会計からの繰入金が多いということは、不自然な会計と言えます。

歳出では、職員の人件費が九十七万七千円(三%)、施設の維持管理費百二十八万二千円(四%)、給水施設受託事業費百五十四万五千円(五%)、佐井簡易水道増補改良工事一千八百万円(六十一%)、公債費二百五十一万六千円(九%)その他が、五百三十八万五千円(十八%)となっています。

◇国保特別会計◇

国保特別会計は、主に国民健康保険税と国庫支出金によってまかなわれています。

予算総額は前年度より十六%の伸びです。

一、歳入

国民健康保険税は、歳入全体の三十四%、国庫支出金六十一%、その他五%です。一般会計ではみなさんが納める税等は一律に満たなかったが、この会計では、四割近い分を負担しています。

二、歳出

歳出では、保険給付費が全体の八十四%をしめています。総務費が八%、その他が、八%です。こ

れは病院に支払う分が主で、このほか助産費、葬祭費も含まれます。人件費は、国保事務職員と、保健婦を含むと、四百十九万円で、残りは事務費で、六十六万一千円となっています。

〔改正された条例〕

1 国民健康保健条例の一部改正
被保険者が死亡したとき、葬祭費として二千元を支給していましたが、三千元に改正されました。

七十才以上の老人で、国民健康保険加入者は、入院をのぞいて全部村で負担することになりました。これは社会保険等(昭和四十八年一月一日実施)より早く実施したものです。

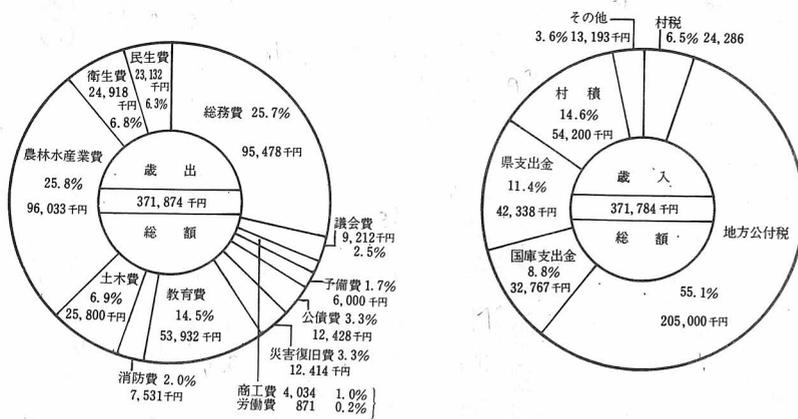
3 特別職、教育長の給与改正
村長が現行の十二万五千円を十六万円に、助役、九万五千円を十二万五千円、収入役、九万円を十二万円、教育長、七万円を八万円にそれぞれ引き上げられました。



性質別経費の状況

(単位千円)

| 区 分 | 金 額 | 構成比 | 対前年当分の率 |
|--------------|---------|-------|---------|
| 1. 人 件 費 | 67,694 | 18.2 | 26.9 |
| 2. 物 件 費 | 61,278 | 16.5 | 13.4 |
| 3. 維持補修費 | 6,237 | 1.7 | 36.9 |
| 4. 扶助費、補助費等 | 28,846 | 7.8 | 97.0 |
| 5. 公 債 費 | 12,428 | 3.3 | 28.9 |
| 6. 投資、出資、貸付金 | 5,270 | 1.4 | 84.4 |
| 7. 繰 出 金 | 9,296 | 2.5 | 106.4 |
| 8. 普通建設事業 | 162,200 | 43.6 | 7.7 |
| 9. 災害復旧事業 | 12,414 | 3.3 | △ 18.3 |
| 10. 積立金、積立額 | 120 | 0.1 | △ 61.8 |
| 11. 予 備 費 | 6,001 | 1.6 | 145.5 |
| 合 計 | 371,784 | 100.0 | 19.2 |



定されました。(会員五〇名)

会長 横浜 一郎
副会長 福田徳次郎

会計 田中重五郎
横浜 きみ

監事 新田 常松
田中留五郎

東出留五郎

昭和四十七年度事業

一、健康診断の実施

二、映画会及び学習会開催

三、レクリエーション

商工会館落成式典

挙行される!!

四月十八日、午前十一時三十分から商工会館で、創立十周年、商工会館落成記念式典が、行なわれました。式典は竹本十三武さんの司会で始められ、川岸建吉商工会会長の式辞、竹本建設へ感謝状贈呈、来賓として、県商工会連合会会長、下北信用金庫、助役の祝辞で式典を終りました。

昭和二十五年商工会の前身であります商工振興会が会員二十名で設立され、昭和三十五年六月に商工法施行とともに同年十一月、現在の「佐井村商工会」が誕生しました。商工会が創立された当時八十五名の会員が現在百五十一名と、八割以上に伸びて来ました。役員は次の通りです。

会長、川岸建吉、副会長、辻一郎、理事、西村重次郎、若山菊雄、片山勝則、山崎長五郎、正村佐、内田俊雄、監事、西村福男、竹本十三武

困ったときの相談は

民生委員へ

民生委員というのは、社会福祉増進のための民間の協力者です。その仕事は、生活のいろいろな面で困っている人たちの相談をうけ、社会福祉事業施設と連絡したり福祉事務所、市町村役場に協力している名誉職です。民生委員は、知事が推選した人を厚生大臣が委嘱します。仕事に

ゆつくり待つて
さつさと渡る

担当民生委員

| | | | |
|------|--------|----------|--------|
| 野平地区 | 佐藤 忠夫 | 中道黒岩浜町地区 | 渡辺 みな |
| 牛滝地区 | 坂井 文雄 | 大七戸川原町地区 | 田名部 武勇 |
| 福浦地区 | 越膳 きみ | 新町緑町地区 | 石沢 みさ |
| 長後地区 | 大坂 浅次郎 | 大町谷地町地区 | 樋口 よい |
| 磯谷地区 | 田中 武雄 | 仲町浜町地区 | 金沢 みね |
| 矢越地区 | 館脇 敏雄 | 浦町地区 | 西谷 豊彦 |
| 川目地区 | 高久 系よ | 新町地区 | 島野 利勝 |
| 原田地区 | 加藤 正吉 | 台場川向地区 | 和田 喜一 |

保健婦だより

三月二日に出かせぎ検診行なわれる。

レントゲン検診 二百四名

要精検 六名

血圧測定 百名

低血圧 一名、高血圧四名

要注意 六名、要治療四名

要精検 八名

異常なし 七十七名

出かせぎのひとびとの健康メモ佐井村から、家族と離れて出かせぎに出ている人たちは約六百人あります。家族の健康管理者である主婦から離れて、衣、食、住とも何かと健康上からは問題が多い出かせぎに出ている人たち、これから出かける人たちの健康メモをつづてみましょう。

① 早くなおそう

傷病は早く受診し、早く治療することが必要です。病気を長びかせて慢性にしたり、負傷で一生生涯おられないということのないように、自分自身の健康管理に注意しましょう。

◇ 保健の基礎

日ごろ注意したい保健の基礎的な習慣としては次のようなことがあります。

① 入浴しよう

その日の疲労をとり去るためにも、心身とも爽快にするためにも

毎日入浴しましょう。

② 手を洗おう

病は口からはいります。作業のあと食事のまえ、トイレのあとなどに、ていねいに手を洗いましょう。

③ うがいをしよう

のどの細菌を洗い流すために、作業のあとには、うがいをしましょう。ただの水でいいのです。

◇ 心身のストレスをやわらげよう
都会、特に騒音の多い職場あるいは夜間の作業などは、心身に不快な刺激が加わり、いわゆるストレスが多く、そのために肉体的な病気になるったり、ノイローゼになつたりします。休憩時間や休日を手元に活用して、睡眠を十分に、ちよつとの時間横になつて休息するとか、趣味をもって自分なりの気分転換をはかるとか工夫をしましょう。

◇ 食物は作業の動力源

肉体的な作業をつづけるための動力源は食物です。もし栄養が不足がちな人たちは、日ごろ補食をするように心がけて下さい。牛乳は一日一本はとり、不足がちな野菜は一日両手に三杯、ニンジンなら卵大六個というのが目安、くだものはミカン、リンゴ、肉類、魚トーフ、ナットウなどで蛋白質は十分とってほしい食べ物節約して長い間、肉体労働をつづけることは、からだをおろし金ですり減らすようなものです。

◇ 腰痛を防ごう

力仕事には、腰痛が出てきやすく、出かせぎの人たちにふえてきましな。背骨には二十四個の脊椎があり、その間にやわらかい組織が加わると組織を包んでいる皮のような組織が破れ、神経を圧迫して腰痛をおこすのです。この予防としては次のことに留意していただきたい。

- ① 腰にかかる負担をできるだけさける。
- ② 中腰の姿勢を長時間つづけない。重いものを持ち上げるときには、腰をおとしてから腰と平行してもちあげる。
- ③ ふだんから腰の筋肉を強くするよう体操をする。
- ④ スプリングのききすぎた敷布団はよくない。
- ⑤ 腰を使う作業をする人は腰の骨を外圧から保護するため腰からおなかにサランを巻くことも予防のひとつである。

ウエスターベルトというのもいい。時々反対姿勢をする。ふだんは姿勢を正しくすることを心がける。

昭和四十七年度米生産調整受付

について

今年度の米生産調整届けは五月三十一日まで、受付しますので希望者は、役場産業経済課へお届下さい。

昭和四十七年度

農業労働標準賃金さまる!!

去る三月二十八日農業委員会総会に於いて昭和四十七年度の農業労働の標準賃金を次のとおり決定致しましたのでご協力下さい。

| 労働時間 | 作業名 | | |
|-------------------------|------|--------|--------|
| | 男 | 女 | |
| 午前七時～午後五時三十分まで(休憩二時間含む) | 田植 | 一、三〇〇円 | 一、〇〇〇円 |
| | 稲刈 | 一、三〇〇円 | 一、〇〇〇円 |
| | 果樹収穫 | 一、三〇〇円 | 一、〇〇〇円 |
| | 苗取り | 一、三〇〇円 | 一、〇〇〇円 |
| | 脱穀 | 一、三〇〇円 | 一、〇〇〇円 |
| | 除草 | 一、三〇〇円 | 一、〇〇〇円 |
| | 田間作業 | 一、三〇〇円 | 一、〇〇〇円 |
| | 果樹作業 | 一、三〇〇円 | 一、〇〇〇円 |
| | 畜産作業 | 一、三〇〇円 | 一、〇〇〇円 |
| | 漁業作業 | 一、三〇〇円 | 一、〇〇〇円 |

失業認定について

民生相談課

佐井村の失業保険金受給の認定は四月二十七日で取次期間が終了します。したがって、五月からの認定については、安定所へ出頭しなければなりませんから、左により確認を受けて下さい。

記

| 5月12日(金) | | |
|----------|------------|----|
| 月日 | 番号 | 窓口 |
| 9:00 | 150001~600 | B |
| 9:30 | 601~699 | B |
| 10:00 | 250001~60 | B |
| 10:30 | 61~120 | B |



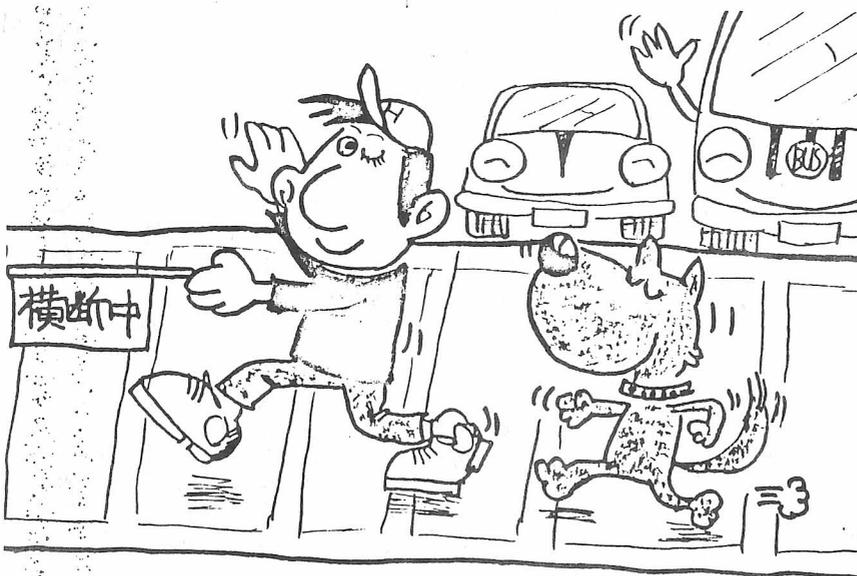
[失業保険認定]

歩行者の心得

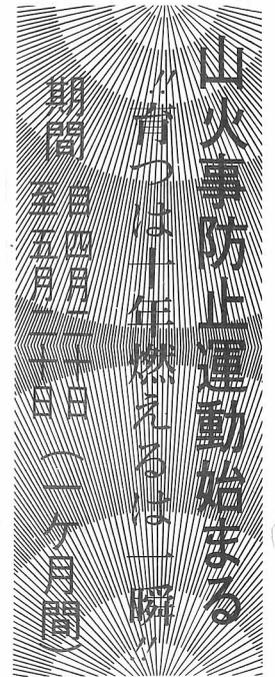
歩行者は、次のことがらをしっかりと守りましょう。うば車、三輪車などの小児用の車や身体障害者用の車いすで通行している人や自動二輪車、自転車を押して歩いている人も歩行者と同じです。

横断のしかた
これから観光シーズンに入りまが、横断する前には、必ず立ち止まって、横断する前には、必ず立ち止まらなければならない。横断する前には、必ず立ち止まらなければならない。横断する前には、必ず立ち止まらなければならない。

まっすぐ、まず右を見て、次に左を見て、さらにもう一度右を確かめよう。いきなり道路にとび出すことは、たいへん危険です。また、車のすぐ前やすぐ後ろを横断してはいけません。その車にひかれる危険があるだけでなく、車のかげになって見えない別の車にもひかれるおそれがあります。



横断歩道は 手をあげて渡りましょう



季節のメモ

野にも山にも、まぶしいほど青葉や若葉は光ってみえます。芭蕉について行った曾良も、すっぱりと髪をそって冬から夏への衣がえをしたのは偶然ではなさそうです。

衣 夏服への衣がえには、また少々あいだがありますが、雨の日を除いて、もうこれからは寒いという日はないでしょう。からっと暗れた日を選んで冬物の衣類の手入れをしましょう。

手入れがすんだらこれから先、四カ月が五月は不要ですから、しまい込むときには必ず防虫剤と防湿剤を忘れずに……。

これからは、白いものを着ることが多くなります。白いものを白く着るのは、おしゃれの第一歩です。ワイシャツやブラウスはもちろんです。男のかたが職場でネクタイをはずしたりしたとき、下着のエリ回りが黄色くなつて見えることがよくあります。

ワイシャツを洗うときに使った漂白剤を、下着類の洗たくのときにも少しわけて使つてやりましょう。

健康 五月は好晴の日が多く、シヤクヤクやバラが気持ちのよいほど花びらをひろげています。カジカが鳴き、つりやピクニックの好季節となりました。この機会にあの閉じこもりがちだった冬のエネ

ルギーを戸外で発散してください。天気さえよければ、風も暖かく、近所の鯉のぼりが見えましたらあの鯉にあやかって元気に深呼吸の一つでも……。

五月に降る雨を五月雨(さみだれ)といいます。五月の異称皐月(さつき)の「さ」と、「水垂れ」の「みだれ」を結んでできたことばでしょう。

五月雨のために水かさが増した川、これから真夏になって水が切れ、広びろと河原を見せる川、川の表情も見て歩けばさまざまです。端午の節句に作るお菓子では関東の柏もちと関西のちまきがあります。柏もちほうろちの粉で作った皮の間にあんを入れ、柏の葉で包んで蒸したものを、ちまきはうるちの粉ともち米をねり、ササの葉に包んで蒸したものです。

住 戸外の緑が豊かになると、家の庭の雑草もいつせいに伸びてきました。あまり強く根を張らないうちにとつておかないとしまつにおえません。ひと雨降つた翌日とか、露じめりの残つた朝のうちはとりやすいようです。草の葉だけちぎつてとつてもすぐ伸びてきますから、よく根の部分まで引き抜いて、土を払ってからポリ袋か丈夫な紙袋に入れてまとめて棄てましょう。

商業統計調査の実施

通産省では、本年五月一日現在で全国二百十五万以上の卸、小売商店および飲食店をもれなく対象として調査する商業統計調査を行います。

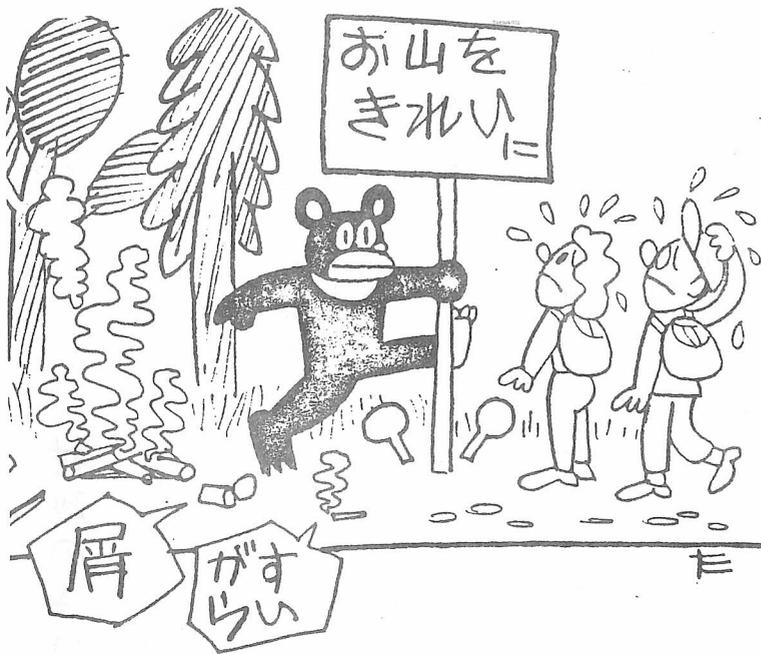
この調査は、統計法に基づく指定統計調査で、わが国商業の販売活動の実態や商品の全国的な流通状態を明らかにすることを目的とする商業部門における基礎的な調査で、昭和二十七年から一年おきに全国いっせいに実施している「商業の国勢調査」ともいべきもので、今年(昭和四十一年)の調査の結果は、昭和四十七年商業統計表として一般に公表します。

実際の調査は、都道府県知事から任命された商業調査員が五月一日に商店に接直うかがつて調査表を渡し、皆さんに必要なことがらを記入していただいで取り集めるという方法によつて行なわれます。調査票の記入内容については、統計法によつて厳重に秘密が守られています。さらに税金の徴収に利用することとはもちろん、その他商店の利益となるような目的には使うことはいけません。正確に申告してください。

山火事防止については日頃からご協力をいただき厚く御礼申し上げます。連日の好天で空気が乾燥しており山火事の発生しやすい状態になっております。毎日の仕事で苦労さまです。山に入られる方は次の点にご協力下さい。

- ◎ 入林の際は煙草の吸がらを完全に消して下さい。
- ◎ 火災防止期間中は、山で火を使わないで下さい。
- ◎ 森林に接近している原野、荒地、その他の土地において火入れをする際は火入れ許可をうけて下さい。

(役場四番窓口)



なお、不審な点は、直接、役場
総務課総計担当者にたずねてくだ
さい。

佐井村献血協議会が

全国表彰の内報

皆さんの御協力で佐井村の献血
成績が、ここ数年大変よろしいと
いうことで、この度、全国表彰の
内報を受けました。今迄の御協力
を謝し今後の一層のべんたつをお
願ひします。

献血推進協議会々々長

宮川 年晴

古切手を寄付して下さい。

助役

ネパールなどで医療奉仕活動を
続けておられる方達への一助とし
て、古切手を集めております。広
報二月号でお願いして以来すでに
小包で第一便は送りましたが、引
き続きどしどし送ってあげたいと
思っておりますので何分の御協力
をお願い致します。

役場からお知らせ

毎月の請求書は、
翌月の五日まで提出
して下さいようお願い
致します。

村政の窓口

三月十六日 佐井村献血推進協議
会

会

三月十七日 佐井中学校卒業式

三月二十一日 定例議会(二十五
まで)

まで)

三月二十九日 献血(全部落)

三月三十日 献血(両佐井)

交通安全対策協議会

四月十三日 観光協議会

こよみと行事

(五月)

一日、ゴミ回収

六日 ゴミ回収

八日 花まつり(保育所)

九日 ゴミ回収

妊婦健康相談(牛滝、福浦)

十一日乳児健康相談(両佐井、原
田、矢越、川目)

十二日ゴミ回収

十五日ゴミ回収

十六日ツベルクリン反応(牛滝、
福浦、長後、磯谷、矢越)

十八日 BCG(牛滝、福浦、長
後、磯谷、矢越)

後、磯谷、矢越)

後、磯谷、矢越)

後、磯谷、矢越)

後、磯谷、矢越)

後、磯谷、矢越)

後、磯谷、矢越)

妊婦学級、(両佐井、

原田、川目、矢越)

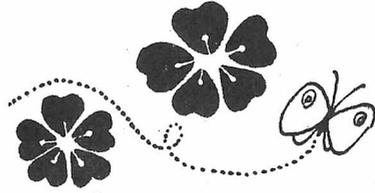
二十四日 老人健康診断(大佐井)

二十六日 ゴミ回収

二十九日 生ワク(二十八日まで
全村)

全村)

ゴミ回収



戸籍の窓口

四月二十一日現在

お誕生おめでとう

大久保 健 (和博) 大佐井

工藤 春美 (金市) 大佐井

長谷川隆志 (巖) 牛滝

石戸 文章 (要市) 古佐井

金沢 律子 (清土) 大佐井

菊池 祭子 (繁) 古佐井

若山 佳子 (弘) 古佐井

洪田 雅葉 (昌平) 古佐井

島中 治子 (徳夫) 大佐井

ご結婚おめでとう

山本 和幸 (北海道) 牛滝

長谷川よね (牛滝)

山田 宗広 (山梨県)

滝本 加代 (長後)

土方 誠 (静岡県)

福田 光子 (磯谷)

横田 秀雄 (北海道)

新田 雪子 (磯谷)

木村 明弘 (青森市)

大石 弘子 (長後)

福田 義一 (大佐井)

松谷 みゑ (大佐井)

三上 明 (市浦村)

阿部 庸子 (五所川原市)

桑折 勝信 (福島県)

館脇 昌子 (矢越)

上原 建八 (群馬県)

加賀 恵子 (大佐井)

大坂 功 (長後)

横浜 輝子 (磯谷)

武内 篤信 (愛知県)

若山 恵理子 (古佐井)

菅原 清継 (北海道)

館脇 愛子 (矢越)

中村 竹男 (矢越)

川上久仁子 (名寄市)

清水 勝利 (大間町)

館脇まり子 (矢越)

宮川 猛 (大佐井)

佐藤 秀子 (大和市)

大畑 正光 (牛滝)

豊島せつ子 (平内町)

高橋 至 (大佐井)
諏訪 敏子 (青森市)

ご逝去おくりやみ申します

中村 初太郎(清三) 古佐井
若山 等 (十四六) 古佐井
鈴木 ハル (岩三郎) 野平

人口と世帯

| | | | |
|-----|-------|----|--|
| 男 | 2,388 | 人 | |
| 女 | 2,499 | 人 | |
| 計 | 4,887 | 人 | |
| 世帯数 | 1,112 | 世帯 | |

編集と発行

佐井村役場(総務課)

印刷所

協同印刷

表紙の説明

ことし秋に完成する山村開発
センター 役場庁舎